

## 平成28年度第4回 三重県伊勢志摩サミット推進本部会議 概要

- 1 開催日時:平成28年8月4日(木)9:10～9:20
- 2 開催場所:プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要:以下のとおり( 議題提出部局説明・回答、 意見・質問)

### 事項1 三重県伊勢志摩サミット推進本部設置要綱の一部改正について【資料1】

岩本サミット総務課長(資料1により、サミット後もポストサミット等に取り組んでいくため、要綱を一部改正した旨説明。)

(質疑なし)

### 事項2 各部局からの報告

村上伊勢志摩サミット推進局長

農林水産部に資料を用意していただいたので、説明をお願いしたい。

吉仲農林水産部長(A3資料により説明)

サミットが開催された伊勢志摩国立公園を舞台としていただくよう誘致活動を行った結果、伊勢志摩国立公園が7月25日に「ナショナルパーク」に選定された。今後、公園の活用と保全を図っていくこととなるが、各部局ともしっかり連携し取り組んでいきたい。

村上伊勢志摩サミット推進局長

その他にご報告いただくことはないか。雇用経済部から、民間の動きなど何かご報告いただくことはないか。

廣田雇用経済部長

サミットが開催されたことで食材も利用され、お酒もたくさん売れているということで、各社ともこの機会を利用して色々売り込んでいると聞いている。県においても、食に関して、今後、人づくりやサービス産業の高度化といった仕組みづくりをしていきたい。また、「みえ産業振興戦略」のローリングを行うにあたり、食の産業振興の取組についても検討していきたい。さらに、市町と連携し、外資系企業の誘致を進めていくため、会議を立ち上げ、取組を進めている。

村上伊勢志摩サミット推進局長

観光局はいかがか。

水島観光局長

6月30日から、「みえ食旅パスポート」の展開を始めている。県外においても、7月20日に知事に三重テラスにお越しいただき発表会を開催した。その他、大阪・名古屋でもPRをする予定である。インバウンドについても、富裕層及び欧米からの誘客を狙うとともに、MICEについては、7月1日に三重県海外MICE誘致促進補助金を設定し、これから積極的に誘致活動に入っていきたいと考えている。伊勢神宮の参拝者数は、サミット開催後の6月・7月は、昨年と比べて125.8%となり、昨年を上回る参拝者数となっている。この勢いを夏休み、さらには秋の観光シーズンに向けてさらに加速させるため、取組を進める。

村上伊勢志摩サミット推進局長

今後も、県民の皆さんや団体において、様々な動きが出てくる可能性があるため、各部局におかれては情報提供をお願いしたい。

### 事項3 伊勢志摩サミット推進局からの報告

#### (1)伊勢志摩サミットに係る「職員向け説明会」の実施について【資料2】

岩本サミット総務課長(資料2により説明)

(質疑なし)

#### (全体を通して)

鈴木知事

・職員説明会については、職員の皆さんがサミットのテーマや開催成果などをしっかり理解することが大切。サミット開催に向けても、県民の皆さんに参画していただきオール三重で取り組んできたので、ポストサミットにおいても、様々なイベントを準備していることと思うが、先般の経営戦略会議において、有識者委員からも同様の意見があったので、なるべく県民の皆さんに参加してもらって、みんなでサミットのレガシーを共有し、発展させていくような取組にしてほしい。

・8月には地学オリンピック、9月には女性の国際フォーラムが開催され、11月には伊勢志摩国立公園指定70周年を迎えるが、サミット開催後100日や150日、半年といった節目の日があるので、広報をうまく連動させて、県内外にサミット後も取組を続けていることが伝わるようにしてほしい。

・松阪市長との1対1対談でも話があったように、食をさらに海外展開していくため、秋の提言を待つことなく二国間協議の働きかけを国に行い、食の輸出が少しでも早く実現するように、農林水産部中心に検討すること。

(以上)